

◆ 今週のコメント

- ・ A型肝炎の報告が1例(女性, 50歳代)あります。症状は、全身倦怠感・発熱・食欲不振・肝機能異常・その他(関節痛)です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は3例となり、昨年および一昨年の年間報告数(平成24年・平成25年共に1例)を上回っています。全国においても、A型肝炎の報告数は、第3週(1月13日～1月19日)以降急増しています。第14週までですでに260例となっており、過去3年間のそれぞれの年間報告数(平成23年176例, 平成24年157例, 平成25年128例)を上回っていますので、注意が必要です。
- ・ クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型)の報告が1例(女性, 80歳代)あります。症状は、進行性認知症・ミオクローヌス・無動性無言状態です。本年初めての報告となっています。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(女性, 80歳代)あります。本年の累積報告数は8例となっています。平成25年4月1日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降、平成25年の累積報告数は15例でした。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は4.01(272例)で、第9週(2月24日～3月2日)以降、6週連続で減少を続けています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 推定感染地域, 推定感染経路の順に掲載。ただし, 結核は除く。)

- ・ 二類: 結核 8例(肺結核 4例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 89例(肺結核 45例, その他結核 17例, 潜在性結核感染者 27例)うち喀痰塗抹陽性 22例】
- ・ 四類: A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類: クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 8例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	4.01	273
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.32	177
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.54	22
	③ 水痘	0.37	15
	④ 突発性発しん	0.34	14
	⑤ 咽頭結膜熱	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

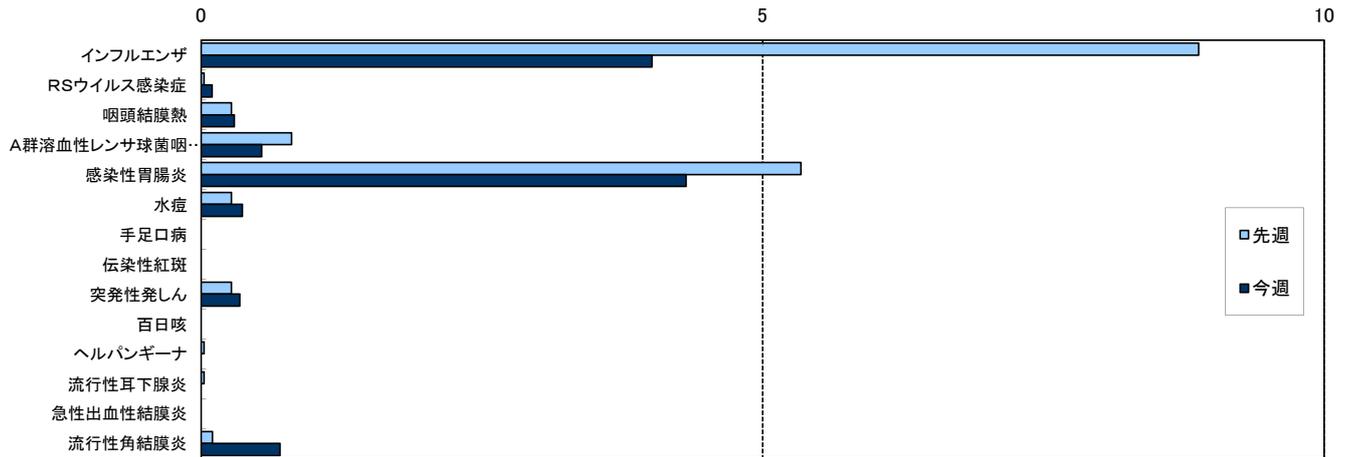
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは、平成26年4月10日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

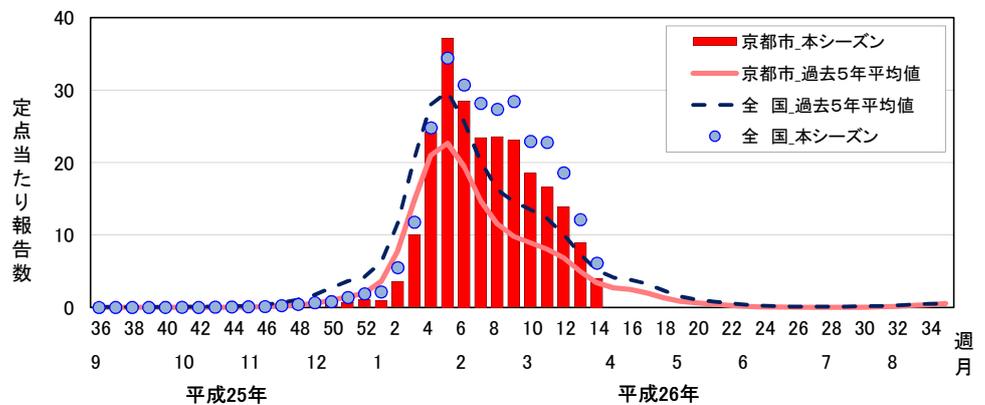
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第14週)と先週(第13週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第10週	1,259
第11週	1,127
第12週	941
第13週	604
第14週	273
累積報告数 (第36週以降)	16,287

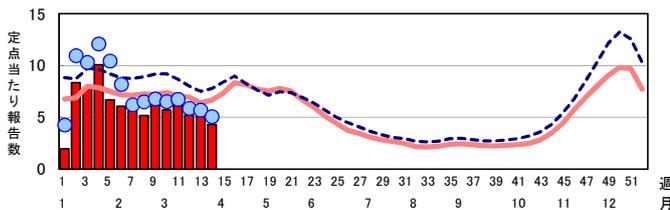


※平成21年/22年シーズンは、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

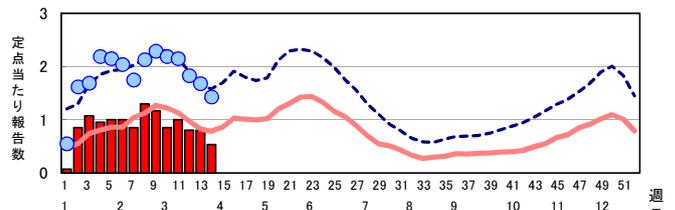
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

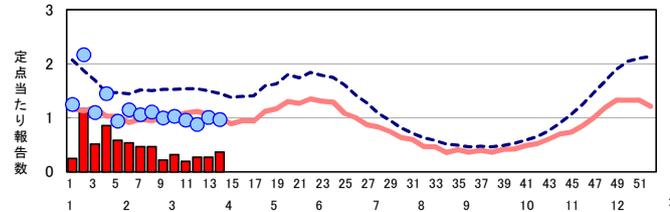
1 感染性胃腸炎



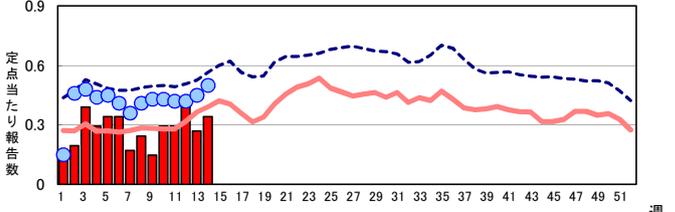
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



3 水痘

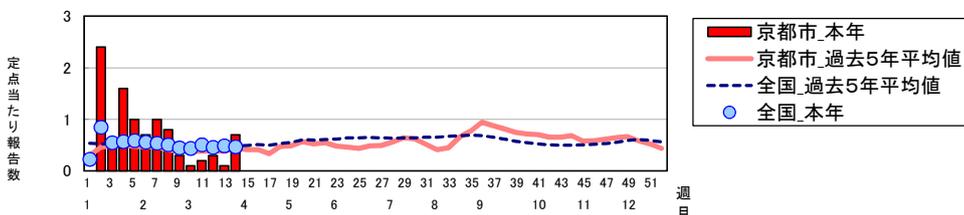


4 突発性発しん



<眼科定点>

流行性角結膜炎



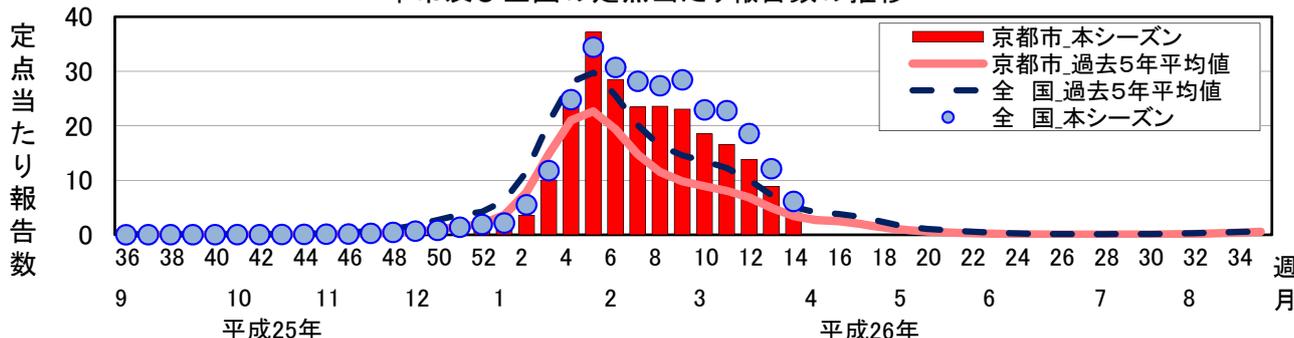
第14週(3月31日～4月6日)トピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は4.01(272例)で、第9週(2月24日～3月2日)以降、6週連続で減少し続けています。

年齢群別では、0～4歳が76例(27.8%)と最も多く、次いで5～9歳 63例(23.1%)となっています。学校が春休み期間であったため、10～14歳の割合が2週連続減少していますが、新学期が始まると再び増加に転じた年もあることから、今後も流行が続く可能性があります。ご注意ください。

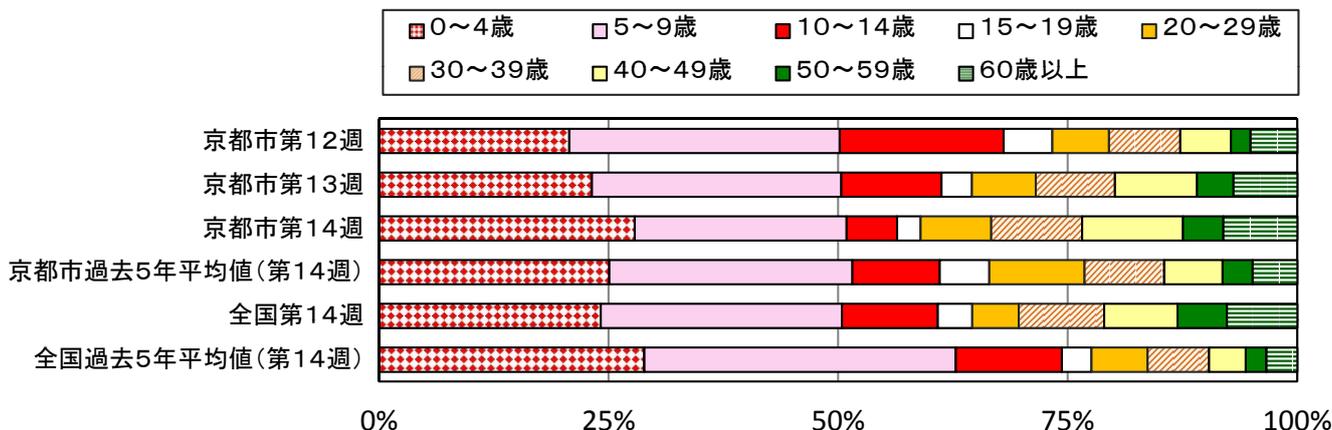
全国のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、今シーズン(平成25年36週～)はAH1pdm09の検出割合が最も多かったものの、年明け以降、B型の割合が増加しています。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



※平成21年/22年シーズンは、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

年齢群別定点当たり報告割合の推移



全国のインフルエンザウイルス分離・検出割合の推移(平成26年4月11日現在)

